

様式第11号（第16条関係）

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業実績報告書

平成 31 年 3 月 1 日

和泉市長 あて

団体名 はつが野街づくり推進委員会
代表者名 荒木 和也
所在地
電話

平成 30 年 5 月 28 日付 和泉公民第 634 号で交付決定のあった支援金に係る事業の実績報告について、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第16条の規定により、提出します。

- 1 事業費総額 1,959,944 記 円
(うち、対象経費 1,587,008 円)
- 2 交付決定額 976,680 円
- 3 添付書類
(1) 事業報告書（様式第12号）
(2) 収支決算書（様式第13号）
(3) その他市長が必要と認める書類

以上

事業報告書

<p>事業の名称</p>	<p>はつが野祭り</p>
<p>事業内容</p>	<p>1 主な対象者 青葉はつが野校区内に居住の子ども達(園児、小学生、中学生、高校生)</p> <p>2 事業の実施期間 平成30年11月4日(日) 9:30~15:00</p> <p>3 事業の実施場所 和泉市立青葉はつが野小学校 運動場</p> <p>4 事業内容 地域住民の親睦、世代間交流、子どもたちの思い出づくりを図るため、下記の事業を実施しました。</p> <p>(1)地域周辺の幼稚園、学校、団体、サークル等によるアトラクション チアダンス、緑ヶ丘幼稚園児のフラグ演技と鼓笛隊、 いずみ太鼓(鼓聖泉)、こどもジャズダンス Minx & Luft)、 ズンバダンス、フラダンス、ダンスフィットネス、銭たいこ、バレエ ○※クイズ大会、お楽しみ抽選会 等</p> <p>(2)自治会員によるゲームブースの出店 自治会、子ども会、老人会等13ブースで、景品当て、あめちゃんすくい、 金魚すくい、千本引き、コイン落とし、スピードガン、対戦ゲーム、 ピラミッドボール、割り箸鉄砲、キックターゲット 等によるゲーム遊び</p> <p>(3)地域内飲食業者による飲食ブースの出店 地元の飲食店業者「安」他8店により、やきそば、から揚げ、フライドポテト フランクフルト、ピザ、たこ焼き、焼き菓子、和菓子 等の販売</p>

<p>事業の成果</p>	<p>1 参加者・スタッフの人数状況</p> <p>(1)参加者数 約 4,000 人</p> <p>(2)スタッフ数 350 人</p> <p>2 参加者の声</p> <p>(1)祭り前の声</p> <p>本祭りは、主に子供を対象とした祭りであるが、毎年回を重ねる(今回第13回)ごとに、大人も子供も祭りの楽しさ、面白さが浸透し、毎回事前準備の段階からアトラクションや出店の内容等について、またステージ参加の問い合わせがあり、祭りの知名度の向上と地域住民の関心の高さがうかがわれた。</p> <p>(2)祭り後の声</p> <p>昨年の荒天下とうってかわり、準備段階から雨天の心配がなく、予想通りの来場者があった。スタッフにしても天候に恵まれたことに対する喜びが、運営の苦労を上回った。参加者からは次のような声が寄せられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨の心配がなく楽しい一日であった。 ・ スタッフの方々の笑顔が良かった。 ・ 子どもたちと楽しむことができた。 ・ 楽しく遊ばせてもらいました。 ・ いろいろなゲームブースがあり、楽しかった。 ・ 子どもの遊びが50円なのが良い。 ・ ゲームの終わりが早い。 <p style="text-align: center;">等々</p> <p>3 事業を実施したことによる目標達成状況および効果</p> <p>今回も、校区内及び近隣校区の住民が「はつが野祭り」の活動を通じてコミュニケーションを図り、親睦を深めることができ連帯感を養うことが出来た。特に、はつが野地区3自治会(はつが野、3丁目、松風台)および桃山大学生が、一体となってはつが野祭りに取り組み、地域の連帯感醸成と世代間交流が図れ、互助意識の土壌づくりができた。大勢のゲストに対し、キャストが一丸になって祭りを盛り上げ、祭りを成功に導くことができた。</p> <p>更に、子どもたちにとっては、祭りで体験した色々なことが自己の情操を豊かにし、良き思い出づくりができたものと思われる。</p> <p>4 今回の申請事業の反省点</p> <p>(1)会場設営・撤収作業の簡素化</p> <p>会場設営・撤去ともにテント業者に依頼して会員の負担軽減を図ったが業者が撤収作業に手間取り、現状復旧に時間が掛かった。</p> <p>(2)こども以外の年齢層に対する関わりの充実</p> <p>老人クラブが参加しているので高齢者層と子供たちの交流はできているが、中高生や大人同士が子供たちと交流する場がなく、スタッフ以外の大人にとっても地域住民同士の交流の場となる様な工夫が必要である。</p>
--------------	--

<p>課題(今後の方向)</p>	<p>1 内容の更なる充実</p> <p>本祭りは、会場の借上げ、会場設営の準備等の関係で、雨天順延は困難であり開催せざるを得ないが、入場者数は天候により大きく変わる。ブース売上は来場者数に左右されることからアトラクションや各ブース(出店)の種目、内容、原材料の仕入量を十分に検討し、収支の均衡を図る必要がある。今回は晴天に恵まれ十分な販売時間が確保できたが、早くに終了してしまったブースもあった。事業収支の視点で考える必要がある。</p> <p>2 会場設営の適切な判断</p> <p>開催日が晴天の場合はグラウンド、雨天の場合は体育館及び中庭を会場として、気象庁の天気予報を参考にして舞台やテントの設営を行うが、今回は雨の心配が殆どなく、むしろ暑さ対策の必要性を感じたほどであった。前回までの経験を踏まえて休憩所、ベンチの設営を行ったが、好天のため来場者が非常に多く休憩所に入れなかった人たちもいた。ブースと休憩所、観覧席の割振りを見直す必要を感じた。</p> <p>3 備品(テント、テーブル、椅子)の調達方法の改善</p> <p>今回はスタッフの負担軽減のため、テント、テーブル、椅子をすべてレンタルとした。おかげで会場設営、撤収作業は早く片付いた。ただし回収作業時間の遅延により一部役員へは負担が増した。</p> <p>4 会場運営体制の明確化</p> <p>規模が拡大してきており、会場運営組織図を作成し、分担を明確にすると共に円滑な事業運営が出来る規模を探る必要がある。</p> <p>5 会場警備体制の確立</p> <p>混雑が予想される会場出入口、駐車場、出演者更衣室、会場内の舞台前等には、警備要員を配置して、雑踏事故、交通事故、火災予防、盗難等の各種事故防止に努める必要がある、今回もシルバー人材センターの有償応援を依頼した。なお本祭りでは、和泉警察署、和泉市消防本部、校区内青少年問題協議会等関係機関団体と連携して、事故防止に努めている。</p> <p>6 入場者飛び入り参加のアトラクションの実施</p> <p>今回も一部ステージイベントにて入場者が飛び入りで参加できるアトラクションを用意した。</p> <p>7 来場者へのサービス向上</p> <p>アトラクションの見直しにより、来場者の休憩スペースを確保したが、レイアウトの検討により、更なるスペースの確保に努める必要がある。</p> <p>8 食中毒予防対策</p> <p>飲食物を提供する出店業者、自治会ブースには、衛生上の配慮、商品の賞味期限の確認、食物アレルギーに対する知識の確認等を行わせ食中毒防止に努める必要がある。調理販売業者には露天営業許可の取得を求めた。</p>
------------------	---

収支決算書

事業の名称 はつが野祭り

1. 【収入】

(単位:円)

項目	金額	積算根拠等
支援金	776,680	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	411,346	ゲームブース収益金
自主財源	771,918	はつが野自治会、はつが野2丁目自治会、はつが野松風台自治会拠出金
合 計	1,959,944	

2. 【支出】

(単位:円)

費目	金額	積算根拠等(数量、単価等)
報償費	40,000	演目出演者支払
旅費	330	レンタカーガソリン代
消耗品費	53,916	各ゲームブース材料代、ブルーシート、文具等
食料費	28,274	スタッフ作業飲料代
印刷製本費	37,140	開催案内・パンフレット等の印刷代
役務費	13,432	切手、振込手数料
委託料	304,020	舞台音響設備費
使用料及び賃借料	677,376	レンタカー、テント、机などレンタル代
原材料費	432,520	ゲームブース原材料、音源作成
備品費(対象経費)	-	
備品費(対象外経費)	-	
その他対象外経費	372,936	抽選会イベント景品(@500円以上のもの)、印刷費他
合 計	1,959,944	
対象経費	1,587,008	

※費目は、別表(第9条関係)に記載されているとおりに記載してください。

※備品費(対象経費)には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

(添付書類)

- ・事業の経費に係る領収書(原本)